

2023年度 環境活動レポート
(2023年7月～2024年6月)

2024年8月3日

株式会社 古賀

目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 環境経営方針
- 4-1. 環境経営目標(本社・宇都宮営業所)
- 4-2. 環境経営目標(M&D熊本事業所)
- 4-3. 2023年度以降環境経営目標(本社・宇都宮営業所)
- 4-4. 2023年度以降環境経営目標(M&D熊本事業所)
5. 環境経営計画
6. 環境経営目標の実績
- 7-1. 環境経営計画の取組結果とその評価、
次年度の取組内容(本社・宇都宮営業所)
- 7-2. 環境経営計画の取組結果とその評価、
次年度の取組内容(M&D熊本事業所)
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果,並びに違反,訴訟等の有無
9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

【1. 組織の概要】

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社古賀 代表取締役 古賀 文雄

(2) 所在地

本社：栃木県鹿沼市流通センター35番地

宇都宮営業所：栃木県宇都宮市ゆいの杜3-4-3 107

M&D熊本事業所：熊本県菊池郡菊陽町原水3802-30

(3) 環境管理責任者及び事務局連絡先

・環境管理責任者： 内藤達也

・事務局： 後藤延弘(本社・宇都宮)、緒方達弘(熊本)

・連絡先：TEL 0289-76-1711 FAX 0289-76-1717

E-mail tatsuya_naito@eg-koga.co.jp

(4) 事業活動

試験・計測システム、加工システム、FAメカトロシステム、
メンテナンスパーツの販売

(5) 事業の規模

売上高 2495百万円

従業員数 34名

延床面積 2047.68m²

本社：1044.68 m²

宇都宮営業所：63m²

M&D熊本事業所： 940.0 m²

2023年度環境経営活動

(6)組織図

株式会社 古賀 EA21環境経営システム推進組織



	役割、責任・権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を任命する。 環境方針を制定する。 環境経営システムの全体の評価と見直しを行う。 推進に必要な委員、技術、資金等を準備する。 環境経営システムに必要な文書及び記録を承認する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築・運用の責任者として取組を推進する。 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施リーダー。 環境目標及び活動計画を策定し、社長の承認を得る。 環境目標及び活動計画の達成状況や実施状況の確認と評価を行い、社長に報告する。 環境関連法規の取りまとめ、最新チェックおよび遵守状況の確認をする。 外部からの苦情や要望を受け付ける窓口。 代表者による全体の評価と見直しのための情報を報告する。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 文書、記録を管理する。 教育訓練の実施リーダー。 廃棄物の管理 活動計画の実行を推進する。 システムで定めたルール、取組事項を自発的、積極的に実施する。 達成状況、実施状況を把握し、環境管理責任者に報告する。 活動計画を達成するための改善活動を検討し、環境管理責任者と協議・実行する。
社員	<ul style="list-style-type: none"> システムで定めたルールに則り、環境経営活動に自発的、積極的に実施する。

2023年度環境経営活動

2. 対象範囲

1.(4)の事業活動及び以下のすべての組織を対象範囲としている。

事業所	所在地	対象
本社	栃木県鹿沼市流通センター35番地	○
宇都宮 営業所	栃木県宇都宮市ゆいの杜3-4-3 107	○
M&D 熊本事業所	熊本県菊池郡菊陽町原水3802-30	○

3. 環境経営方針

環境理念

当社は当社の行っている事業活動が環境に与える影響を十分認識した上で、環境を保全し、かつ改善することを通じて、環境負荷の低減と経済的効果を目指し、全社員で取り組みます。

行動指針

- (1)実施にあたり次のとおり環境目標を定め、環境汚染の予防に努めます。
 - ①営業車の燃料消費量を抑制し、二酸化炭素の排出抑制に努めます。
 - ②電気利用のムダを改善し、省エネルギーに努めます。
 - ③廃棄物の分別を徹底し、循環資源化と再利用を進め、排出抑制に努めます。
 - ④一層の節水を図り、省資源に努めます。
- (2)環境関係法規、条例、及び各種協定など当社が受け入れたその他の要求事項や約束事項を守ります。
- (3)これらの環境目標の内容については必要に応じて見直しを行い、継続的改善をはかります。

2018年7月3日改定
株式会社古賀
代表取締役 古賀 文雄

2023年度環境経営活動

【4-1. 環境経営目標(本社・宇都宮営業所)】

(1) 総量

項目	単位	2022年度 (基準値)	目標			
			2023年度 1%削減	2024年度 1.5%削減	2025年度 2%削減	
二酸化炭素 排出量	Kg-CO2	115609	114452.9	113874.9	113296.8	
ガソリン 消費量	ℓ	37633	37256.67	37068.51	36880.34	
軽油 消費量	ℓ	2086	2065.14	2054.71	2044.28	
電力 消費量	Kwh	49604	49107.96	48859.94	48611.92	
廃棄物 排出量	一般 廃棄物	Kg	612	605.88	602.82	599.76
	産業 廃棄物	Kg	30	29.7	29.55	29.4
水使用量	m ³	124	122.76	122.14	121.52	

※電力のCO2排出係数は東京電力の0.462kg-CO2/kWhを使用

(2) 原単位

項目	単位	2022年度 (基準値)	目標		
			2023年度 1%削減	2024年度 1.5%削減	2025年度 2%削減
二酸化炭素 排出量	Kg-CO2 /百万円	56.6	56.034	55.751	55.468
ガソリン 消費量	ℓ /百万円	18.3	18.117	18.0255	17.934
軽油 消費量	ℓ /百万円	1	0.99	0.985	0.98
電力 消費量	Kwh /百万円	22.8	22.572	22.458	22.344

2023年度環境経営活動

【4-2. 環境経営目標(M&D熊本事業所)】

(1) 総量

項目	単位	2022年度 (基準値)	目標			
			2023年度 1%削減	2024年度 1.5%削減	2025年度 2%削減	
二酸化炭素 排出量	Kg-CO2	28524	28238.76	28096.14	27953.52	
ガソリン 消費量	ℓ	8157	8075.43	8034.645	7993.86	
電力 消費量	Kwh	19620	19423.8	19325.7	19227.6	
廃棄物 排出量	一般 廃棄物	Kg	96	95.04	94.56	94.08
	産業 廃棄物	Kg	645	638.55	635.325	632.1
水使用量	m ³	38	37.62	37.43	37.24	

※電力のCO2排出係数は九州電力の0.483kg-CO2/kWhを使用

(2) 原単位

項目	単位	2022年度 (基準値)	目標		
			2023年度 1%削減	2024年度 1.5%削減	2025年度 2%削減
二酸化炭素 排出量	Kg-CO2 /百万円	50.8	50.292	50.038	49.784
ガソリン 消費量	ℓ /百万円	16.9	16.731	16.6465	16.562
電力 消費量	Kwh /百万円	35	34.65	34.475	34.3

5. 環境経営計画

(1) 二酸化炭素排出抑制

当社の事業活動で排出される二酸化炭素排出量の8割超が営業車両によって消費される燃料からであり、この営業車両の運営を適切に行うことが、当社における環境負荷低減に最も有効的な活動で重点管理項目扱いとなる

① 営業車の燃費(燃料消費率)向上と燃料消費量の削減

- ・ふんわりアクセルスタート
- ・タイヤの空気圧チェック
- ・余分な荷物を積まない
- ・オイル・エレメント交換時期の明示
- ・燃料消費状態をグラフで掲示公表

② 節電活動による消費電力の削減

- ・不在時の照明消灯・PC電源OFF
- ・空調の温度設定と稼働条件の徹底
設定／稼働条件：夏季26℃／26℃以上、冬季22℃／22℃以下
- ・不要設備の撤去
- ・消費電力状況をグラフで掲示公表

③ 省エネ式(インバータ)コンプレッサの販売推進

- ・インバータ式コンプレッサの販売実績をカウント

(2) 廃棄物の排出抑制

① 一般廃棄物の削減

- ・分別化の徹底による循環資源化と再利用
- ・裏紙の使用
- ・電子媒体活用によるペーパーレスの推進
- ・プリントアウト状況をグラフで掲示公表

② 産業廃棄物(廃プラ)の削減

- ・PPバンド、ビニール材の透明、否透明の分別化
- ・エア緩衝材、発砲緩衝材の再利用の推進

2023年度環境経営活動

(3) 水使用量の削減

- ・蛇口への節水表示
- ・使用水量状況をグラフで掲示公表する

(4) 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

- ・自社開催とちぎ生産技術セミナーの開催
- ・メーカー様同行日に合わせて社内講習会を開催

(5) その他

- ・流通センター内の清掃活動に参加(月1回)(本社・宇都宮営業所)
- ・セミコンテクノパークの清掃活動に参加する。(M&D熊本事業所)

2023年度環境経営活動

【6. 環境経営目標の実績】

(1) 総量(本社・宇都宮営業所)

項目	単位	2022年度 (基準値)	2023年度(2023年7月～2023年6月)				
			目標	実績	差異	評価	
二酸化炭素 排出量	Kg-CO2	115609	114452	121277	6825	×	
ガソリン 消費量	ℓ	37633	37257	37257	0	○	
軽油 消費量	ℓ	2086	2065	2366	301	×	
電力 消費量	Kwh	49604	49108	48436	-672	○	
廃棄物 排出量	一般 廃棄物	Kg	612	605	688	83	×
	産業 廃棄物	Kg	30	29.6	0	-29.6	○
水使用量	m ³	124	123	126	3	×	
コンプレッサー販売台数				7			

※電力のCO2排出係数は東京電力の0.462kg-CO2/kWhを使用

2023年度環境経営活動

【6. 環境経営目標の実績】

(2) 総量(M&D熊本事業所)

項目	単位	2022年度 (基準値)	2023年度(2023年7月～2023年6月)			
			目標	実績	差異	評価
二酸化炭素 排出量	Kg-CO2	28524	28239	28175	-64	○
ガソリン 消費量	ℓ	8157	8075	10446	2371	×
電力 消費量	Kwh	19620	19424	17901	-1523	○
廃棄物 排出量						
一般 廃棄物	Kg	96	95	88	-7	○
産業 廃棄物	Kg	645	638	155	-483	○
水使用量	m ³	38	37	48	11	×
コンプレッサー販売台数						

※電力のCO2排出係数は九州電力の0.483kg-CO2/kWhを使用

(3) 二酸化炭素総排出量の推移

事業所	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
本社・宇都宮営業所	Kg-CO2	115609	121277		
M&D熊本事業所	Kg-CO2	28524	28175		

2023年度環境経営活動

【6. 環境経営目標の実績】

(4) 原単位(本社・宇都宮営業所)

項目	単位	2022年度 (基準値)	2023年度(2023年7月～2023年6月)			
			目標	実績	差異	評価
二酸化炭素 排出量	Kg-CO2 /百万円	56.6	56.0	49.0	7	○
ガソリン 消費量	ℓ /百万円	18.3	18.1	16.0	2.1	○
軽油 消費量	ℓ /百万円	1.0	0.9	1	-0.1	×
電力 消費量	Kwh /百万円	22.8	22.6	20.0	2.6	○

※電力のCO2排出係数は東京電力の0.462kg-CO2/kWhを使用

(5) 原単位(M&D熊本事業所)

項目	単位	2022年度 (基準値)	2023年度(2023年7月～2023年6月)			
			目標	実績	差異	評価
二酸化炭素 排出量	Kg-CO2 /百万円	50.8	50.3	32.5	17.8	○
ガソリン 消費量	ℓ /百万円	16.9	16.7	10.7	6.0	○
電力 消費量	Kwh /百万円	35.0	34.7	18.4	16.3	○

※電力のCO2排出係数は九州電力の0.483kg-CO2/kWhを使用

2023年度環境経営活動

【7-1. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容(本社・宇都宮営業所)】

(1) 二酸化炭素排出抑制

目標未達(総量:5%増加、原単位:16%改善)

目標:114453kg-CO₂ 結果:121277kg-CO₂

当社の二酸化炭素排出量に占める割合

・燃料(ガソリン、軽油):80%、電力:20%

① 営業車の燃費(燃料消費率)向上と燃料消費量の削減

【ガソリン車】

目標達成(目標値より総量:1%改善、原単位:14%改善)

目標:37257L 結果:37257L

総給油量 : 37257 L (基準年度: 37633 L)

総走行距離:497311km (基準年度: 509966km)

燃費 : 12.5km/L (基準年度:13.6km/L)

車両台数 : 23台(基準年度: 22台)

(理由)

・総走行距離は、2022年度:509966km、2021年度:497311kmであり、差は約460235kmと走行距離が減った。

走行距離の減少により目標が達成された

【ディーゼル(軽油)車】

目標未達(基準年より総量:12%増加、原単位:0%改善)

目標:2,065L 結果:2366L

総給油量 : 2366L (基準年度: 2086L)

総走行距離:23650km (基準年度: 22470km)

燃費 : 10.7km/L (基準年度: 10.8km/L)

車両台数 : 3台(前年度:3台)

(理由)

・基準年度よりも走行距離が伸びたため、給油量が増加した。

【評価及び次年度の取組み】

・売上増加により原単位では改善が見られた

・ガソリン車、ディーゼル(軽油)車共に燃費が悪化していることから、燃費を気にかけ走行してもらうよう燃費データを毎月ボードに貼り付け意識向上を促し、エコドライブを心がけてもらうよう啓発する。

2023年度環境経営活動

②節電活動による消費電力の削減

目標達成(総量:1%減少、原単位: 2%改善)

目標:49108kWh 結果:48436kWh

(理由)

・2022年に導入したロスナイにより、空調効率が上がり、消費電力が削減した。

【評価及び次年度の取組】

・引き続き消費電力の削減できると努めていく。

③省エネ機器の販売促進(インバータ式コンプレッサーの拡販)

【取組結果】

・今年度の販売総数は、7台の販売となった。

【評価及び次年度の取組】

・機械工具商社として、省エネ商品を多くお客様に周知、販売することが一番環境保全に貢献できると考えているので、次年度も引き続きお客様にご提案していき、1台でも多く販売できるように努めていく。

(2) 廃棄物の排出抑制

一般廃棄物 : 目標未達(総量:11%増加)

目標:606kg 結果:688kg

産業廃棄物 : 目標達成(総量:100%減少)

目標:29.6kg 結果:0kg

① 一般廃棄物

目標未達(総量:1%増加)

目標:606kg 結果:688kg

(理由)

- ・弊社から排出される一般廃棄物は梱包材が主であり梱包材の増加により増えたものと考えられる。

② 産業廃棄物の削減

目標達成(総量:100%減少)

目標:29.6kg 結果:0kg

(理由)

- ・エア緩衝材、発砲緩衝材などは希望する取引先様が引きとってくれたこともあり削減することができた。

【評価及び次年度の取組】

一般廃棄物

- ・分別化の徹底による循環資源化と再利用の継続。
- ・裏紙の使用、両面印刷の奨励、電子媒体(メール等)によるペーパーレス化の推進、紙使用状況のグラフ掲示による社員の意識づけの継続。

産業廃棄物

- ・分別化の徹底による循環資源化と再利用の継続。
- ・エア緩衝材、発砲緩衝材を希望する取引先様へ提供する。

2023年度環境経営活動

(3) 水使用量の削減

目標未達(総量:2%増加)

目標:124m³ 結果:126m³

(理由)

・弊社の場合の水使用量は、トイレなどの生活排水が主である。

【評価及び次年度の取組】

・節水型のトイレに変更する等、過去にせう日更新を行ったため、さらなる削減は難しいと考えるが、不要な使用を減らし、削減に合勤めたい。

(4) 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

【取組結果】

コロナウイルス感染対策として、今年度は開催しなかった。

【評価及び次年度の取組】

・コロナウイルスの影響が収束した際に再開する。

(5) その他

【取組結果】

・流通センター清掃活動に月1回参加

【評価及び次年度の取組】

・毎月参加することができた。

・次年度も継続して地域の清掃活動に参加する。

2023年度環境経営活動

【7-2. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容(M&D熊本事業所)】

(1) 二酸化炭素排出抑制

目標達成(総量:0%、原単位36%改善)

目標:28238kg-CO₂ 結果:28175kg-CO₂

当社の二酸化炭素排出量に占める割合は、

・燃料(ガソリン、軽油):75%、電力:25%

① 営業車の燃費(燃料消費率)向上と燃料消費量の削減

【ガソリン車】

目標達成(総量22%悪化、原単位:35%改善)

目標:8075 L 結果:10446 L

総給油量 :10446 L (基準年度:8157 L)

総走行距離:145692km (基準年度:128841km)

燃費 :11.1km/L (基準年度:12.3km/L)

車両台数 :7台(基準年度:7台)

(理由)

・総走行距離が増えたことにより使用量が増えた。

・燃費は、2022年度:12.3km/L、2023年度:11.1km/Lと悪化している。

・売り上げが基準年度より増加したことにより、原単位は達成となった。

【評価及び次年度の取組み】

・燃費が基準年度よりも悪化しているので、燃費を気にかけて走行してもらうよう燃費データを毎月ボードに貼り付け意識向上を促し、エコドライブを心がけてもらうよう啓発する。

2023年度環境経営活動

②節電活動による消費電力の削減

目標達成(総量:8%改善、原単位: : 46% 改善)

目標:19424kWh 結果:17901kWh

(理由)

・2023年11月にロスナイを導入した効果で、総量は改善でき、
売上増加により原単位は目標を達成できた。

【評価及び次年度の取組】

・前年と比較すると19424kWh→17901kWhと8%の電力使用量が削減されたが、
空調を使用していない期間の電力使用量が増えていることから、こまめな節電
をこころがけ、消費電力量の削減に努める。

2023年度環境経営活動

③省エネ式(インバータ)コンプレッサの販売促進

【取組結果】

・今年度の販売できなかった。

【評価】

・機械工具商社として、省エネ商品を多くお客様に周知、販売することが一番環境保全に貢献できると考えており、次年度では販売できるよう努めていく。

【次年度の取組】

・次年度も引き続きお客様にご提案していき、1台でも多く販売できるように努めていく。

(2) 廃棄物の排出抑制

一般廃棄物 : 目標達成(総量:1%改善)

目標:95kg 結果:88kg

産業廃棄物 : 目標達成(総量:80%改善)

目標:638kg 結果:155kg

①一般廃棄物

目標達成(総量:1%改善)

目標:95kg 結果:88kg

(理由)

・総排出量を見ると2023年度、基準年度ともに96kgであることからほぼ例年通りの排出量と考えられる。

②産業廃棄物の削減

目標未達(総量:80%改善)

目標:638kg 結果:155kg

【評価及び次年度の取組】

一般廃棄物

・分別化の徹底による循環資源化と再利用の継続。

産業廃棄物

・分別化の徹底による循環資源化と再利用の継続。

・エア緩衝材、発砲緩衝材を希望する取引先様へ提供する。

(3) 水使用量の削減

目標未達(総量:30%増加)

目標:37m³ 結果:48m³

(理由)

・人員増加により水使用量が増えたものと思われる。

【評価及び次年度の取組】

・こまめな節水を心掛け、水使用量を削減する。

(4) その他

【取組結果】

・セミコンテックノパークの清掃活動に参加。

【評価及び次年度の取組】

・引き続き、清掃活動に参加する。

2023年度環境経営活動

【8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反,訴訟等の有無】

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規制等の名称	要求事項	確認
廃棄物処理法	廃棄物委託契約書の締結 マニフェストの交付 産業廃棄物保管基準の遵守	対象なし
資源有効利用 促進法	パソコン廃棄時の適正な引渡し	対象なし
自動車リサイクル法	車検証の確認 廃車時のリサイクル券の確認	車検証の確認
フロン排出抑制法	エアコンの簡易点検(四半期に1回実施)	四半期に1回点検実施

(2) 違反、訴訟等の有無

上記の環境関連法規等に関して、2024年6月30日に遵守チェックを実施した結果、違反はありません。

また、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

同様に訴訟・苦情等もありませんでした。

【9. 代表者による全体の評価と見直しの結果】

- ・二酸化炭素排出量(総量)について目標を達成することができなかった。
軽油の使用量増加により二酸化炭素排出量の目標を達成することが出来なかった。
軽油の使用量は、大型の荷物を運搬するために増えた。
これは営業活動の活発化によるものなのでしかたないものであるが、エコドライブを心がける。
 - ・二酸化炭素排出量(原単位)について目標を達成することができた。
売上向上により原単位では、目標を達成することができた。
次年度以降も売上向上させ、目標値を達成できるようにする。
 - ・一般廃棄物についても目標を達成できなかった。
営業の活発化により梱包物の量が増えた。
再利用できる物の分別を行い、削減に努める
 - ・水使用量についても目標を達成することができなかった。
人員増加により水使用量が増えた。
こまめな節水を行う事により、削減に努める。
-
- ・環境経営方針: 変更なし
 - ・環境経営目標及び環境経営計画: 変更なし
 - ・実施体制: 変更なし